



DNライティング株式会社

シームレスライン照明器具イーズ (軒下用)

SOL-S A (100V) (50/60Hz共用)
SOL-S B (200V)

取扱説明書

保存用

10年10月04

お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。
この説明書は取付工事が終わりましたら器具をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

本社・営業本部 / 東京都品川区西五反田 1-13-5 : 03-3492-4460 東京物流センター : 03-3691-3225 札幌営業所 : 011-824-5051
仙台営業所 : 022-283-3401 名古屋営業所 : 052-322-2861 大阪営業所 : 06-6338-1081 広島営業所 : 082-233-8211 福岡営業所 : 092-471-8075

安全上の注意



警告



- ・取付工事やランプ交換または清掃の際には、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- ・万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。



- ・器具の分解、改造は絶対にしないでください。火災や感電の原因となります。



- ・浴室やサウナなどの高温になる場所では使用しないでください。故障、感電の原因となります。



- ・取付工事やランプ交換の際にはソケット内に水が入らないようにしてください。漏電、火災、感電の原因となります。
- ・直射日光の当たる場所及び直接雨のかかる場所には使用しないでください。感電、器具劣化、破損の原因となります。
- ・不安定な場所では使用しないでください。器具の転倒や落下により漏電やケガの原因となります。
- ・凹凸のある面に器具を取り付けしないでください。防水性が損なわれ、感電・火災の原因となります。
- ・器具に内蔵されている電子部品には絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- ・器具を造営材などに埋め込んで使用しないでください。放熱が悪くなり故障、火災の原因となります。
- ・布や紙など燃えやすいもので覆ったり、器具の隙間にものを入れたりしないでください。火災・感電の原因となります。
- ・電源線を無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。電線が損傷し、漏電・火災・感電の原因となります。



- ・電源接続は、接続箇所を圧着端子等により確実に接続し、絶縁処理を行ってください。接続および絶縁処理が不完全な場合は、接触不良により火災・感電の原因となります。
- ・ランプ固定金具をランプ固定ラインまでスライドさせてください。ソケット内部およびランプ口金部に水が浸入し、故障・感電・火災の原因となります。
- ・電源線・アース線の接続部に水が浸入しないよう自己融着テープ等で防水処理を確実にこなってください。防水処理が不完全な場合は火災・感電の原因となります。
- ・ランプ交換または清掃等で外した箇所は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。不完全に取り付けると、火災・感電や落下してケガ・物損の原因となります。
- ・取付工事は、取扱説明書に従って確実にこなしてください。確実に取り付けしないと、火災、感電、ケガの原因となります。
- ・器具の取り付けは、器具質量に耐えるところに取り付け、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。取付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。
- ・電源を接続する際は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。接続が不完全ですと、接触不良により火災の原因となります。



- ・アース工事は、電気設備技術基準にしたがって確実にこなしてください。アースが不完全ですと感電の原因となります。

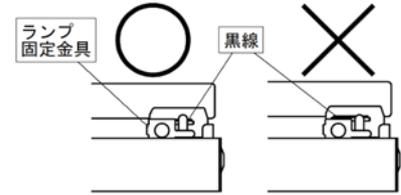
安全上の注意



注意

- ・専用ランプ以外は使用しないでください。破損・火災・感電の原因となることがあります。
- ・電源電圧は、SOL-S□□□AはAC100V±6V、SOL-S□□□BはAC200V±20V以内で使用してください。電源電圧が低いとランプ短寿命の原因となり、高いと電子部品が過熱し発煙、発火の原因となることがあります。
- ・引火する危険性の雰囲気（ガンリン・可燃性スプレー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。火災や爆発の原因となることがあります。
- ・酸などの腐食性雰囲気のところで使用しないでください。故障や漏電、落下の原因となることがあります。
- ・振動や衝撃の激しいところでは使用しないでください。落下によるケガや接触不良により、発煙、発火の原因となることがあります。
- ・粉塵の多いところでは使用しないでください。発煙、発火の原因となることがあります。
- ・点灯中や消灯直後はランプが熱いので、手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- ・器具を被照射物に近接した位置に取り付けしないでください。被照射物(面)が退色する場合があります。
- ・ランプの取付け、取外しの際は、ランプ両端の口金部分を持っておこなってください。破損しケガの原因となることがあります。
- ・ランプ取付け時は、ランプ口金の黒線がソケット羽部に納まる位置まで確実にランプを差し込んだ後にランプ固定金具でロックしてください。ランプ落下や接触不良により、ケガや過熱、発煙の原因となることがあります。
- ・調光器との併用はできません。
- ・5kg以上の荷重をかけないでください。器具の故障や落下の原因となることがあります。

	完全装着状態	不完全装着状態		
装着図				
ランプ装着状態	正常	挿入不足	挿入不足	片側挿入
ランプ点灯状態	点灯	不点灯	点灯	点灯



- ・ランプに物をぶついたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。ランプの破損によりケガの原因となることがあります。
- ・ランプに塗料などを塗らないでください。ランプが過熱し、破損の原因となることがあります。
- ・口金のピンが曲がったり、折れたりしたランプは使用しないでください。また、ピンの切断もしないでください。接触不良による過熱、発煙の原因となることがあります。
- ・使用済のランプは割らずに廃棄してください。ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。

ご使用上の注意

- ・器具の取付工事は必ず電気工事に依頼してください。
- ・器具を並列に取付ける場合は、器具間隔を50mm以上（シームレスライン照明器具1台分の間隔）離してください。ランプがチラついたり、熱干渉によりランプの光束が落ちたり、安定器やランプの短寿命の原因となることがあります。
- ・接続する電線は使用器具の電気容量に合った0.75mm²から2mm²の3心の仕上外径がφ11.5mmまでの屋外および屋側で使用可能なゴム絶縁キャブタイヤケーブルをご使用ください。
- ・器具間の電源送りをする場合は、取扱説明書にしたがって、他の器具は接続しないでください。
- ・ランプはソケットへ確実に押し込んでください。押し込みが不十分な場合、ランプ固定金具がスライドしない場合があります。
- ・ランプ固定金具をランプ固定ラインまでスライドさせないとランプは点灯しません。
- ・周囲温度は5～35℃の範囲で使用してください。周囲温度が低温または高温の場合、ランプ不点灯やチラツキの原因となることがあります。
- ・電源波形に歪みや変動があるときは、ランプにチラツキを生じたり、照明器具に若干のうなり（音）生じる場合があります。
- ・器具清掃の際は、シンナーやベンジンなどの溶剤は使用しないでください。水または中性洗剤を湿した柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- ・器具の近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。
- ・点灯及び消灯直後にランプからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が照明器具より発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。
- ・初めて点灯したとき、ランプ電極付近が黒くなる場合がありますが、しばらく点灯しておくで消えます。
- ・強い風が当たる場所は避けてください。風の当たる部分は、黒化や斑点現象が発生しやすくなります。また、エアコンの風など冷風が直接あたるとチラツキの原因となることがあります。
- ・点滅を頻繁に繰り返す場合は、ランプ寿命が短くなります。
- ・寿命になったランプは、早めに交換してください。
- ・安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店等専門家に修理を依頼してください。
- ・照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
- ・3年に1回は、工事店等の専門家による点検を受けください。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。
- ・漏電遮断器の種類によって電子安定器からの高周波の漏洩電流の影響により漏電遮断器が動作する場合がございます。この場合には高周波対応型漏電遮断器をご使用ください。

器具の定格・防水性能

(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

器具の防水性能は、IPX3 (JIS C 0920) です。

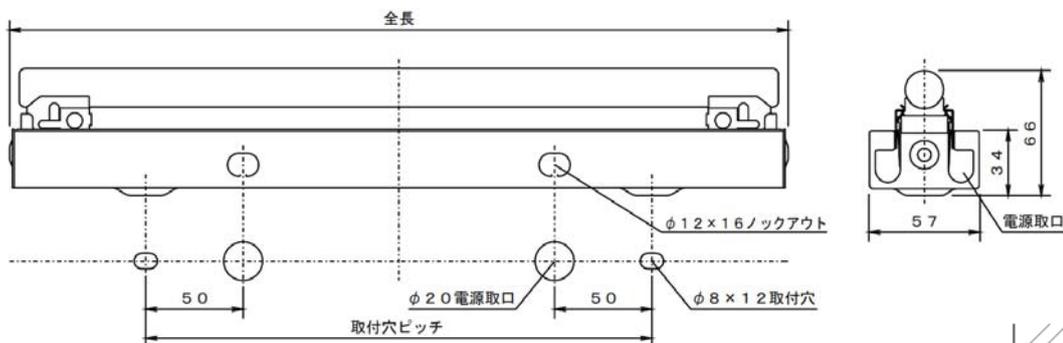
形式	適合ランプ	灯数	全長 (mm)	取付穴ピッチ (mm)	本体質量 (kg)	入力電圧 (V)	入力電流 (A)	入力電力 (W)	ランプ電力 (W)	力率
SOL-S800A	FRT800-S	1	800	460	1.2	100	0.25	25	20	高
SOL-S800B	FRT800-S	1	800	460	1.2	200	0.12	23	19	高
SOL-S950A	FRT950-S	1	950	610	1.3	100	0.30	29	23	高
SOL-S950B	FRT950-S	1	950	610	1.3	200	0.15	28	23	高
SOL-S1200A	FRT1200-S	1	1200	860	1.5	100	0.37	36	30	高
SOL-S1200B	FRT1200-S	1	1200	860	1.5	200	0.18	34	29	高
SOL-S1450A	FRT1450-S	1	1450	1110	1.7	100	0.43	42	35	高
SOL-S1450B	FRT1450-S	1	1450	1110	1.7	200	0.22	43	38	高

・周波数50/60Hz共用

・接続する電線は使用器具の電気容量に合った0.75mm²から2mm²の3心の仕上外径がφ11.5mmまでの屋外および屋側で使用可能なゴム絶縁キャブタイヤケーブルをご使用ください。

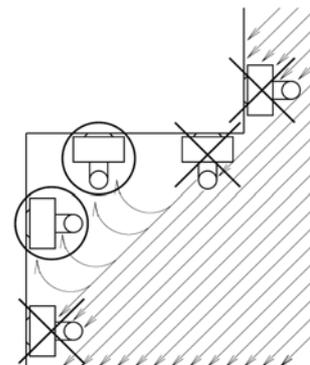
外形寸法

(単位: mm)



器具取付時の注意事項

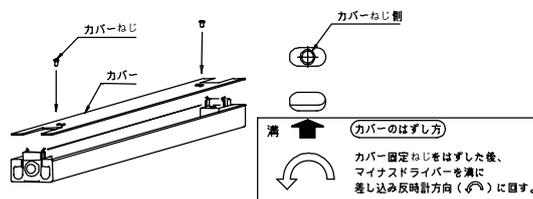
- ①器具設置の際は、ねじれや段差がない平面に器具が変形しないように取り付けてください。防水性能を損ない火災、感電、漏電の原因となりますことがあります。
- ②右図のような風雨の巻き込み及び飛沫のかかるおそれのある軒下や廊下などに設置できます。直射日光の当たる場所及び直接雨のかかる場所には使用しないでください。感電、器具劣化、破損の原因となります。



器具の取付方法

- ①器具のカバーねじをはずしてください。
- ②器具上面部の溝にマイナスドライバー等を入れて器具のカバーを開け、平らな面に取付穴を利用して器具が歪まないように確実に取付けてください。(器具には、取付けボルト等は、付属していません。)

【注意】器具を並列に取付ける場合は、器具間隔を50mm以上離してください。チラツいたり、熱干渉によりランプ光束が落ちたり、安定器やランプの短寿命の原因となることがあります。



電源の接続・電源送りの接続

- ①電源線及び器具間送り電線は接続する器具の電気容量に合った0.75mm²から2mm²の3心の仕上外径がφ11.5mmまでの屋外および屋側で使用可能なゴム絶縁キャブタイヤケーブルをご使用ください。
- ②電源ケーブルと安定器の電源線、アース線の接続は、器具内でおこなってください。圧着端子等を使って確実に接続し、自己融着テープ等を使って防水処理を確実にこなしてください。黒の電源線に器具内インターロックスイッチが接続されています。
- ③電源の接続が終わったらカバーを閉じ、カバーねじを確実に締めてください。

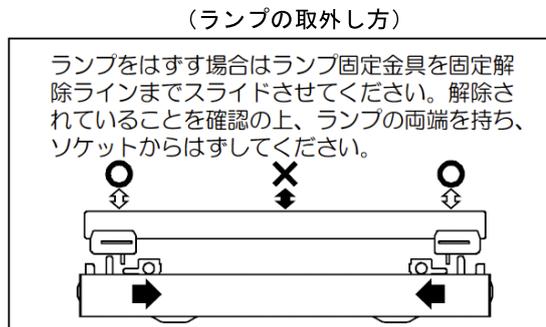
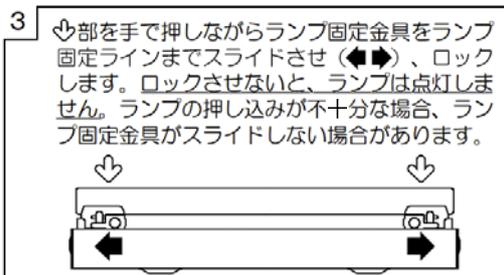
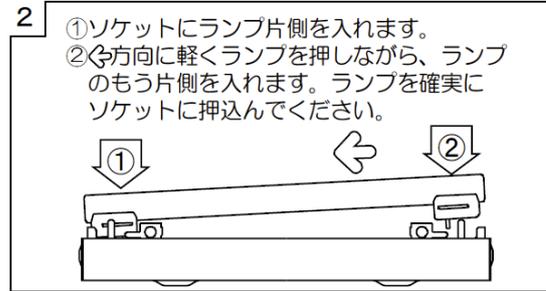
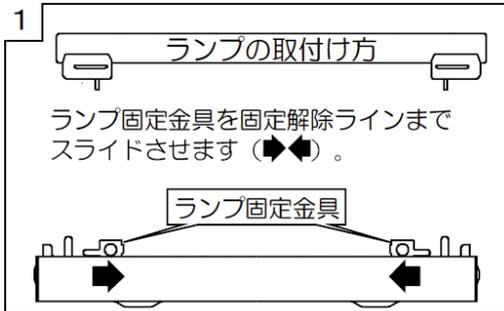
●器具最大連結灯数

使用電線	0.75 mm ²	1.25 mm ²	2.0 mm ²
器具形式(電圧)			
SOL-S□□□A (100V)	10灯	16灯	23灯
SOL-S□□□B (200V)	20灯	32灯	46灯

ランプの取付方法・交換方法

【注意】ランプ取付け、取外しの際は電源が切れていることを確認してください。

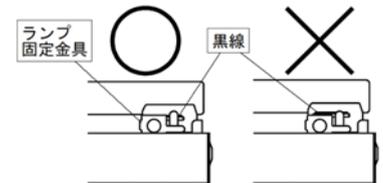
器具上面に右図の[ランプ固定解除ライン]及び[ランプ固定ライン]が表記されています。ランプ固定金具にもラインがマーキングされています。



【注意】

- ・ランプが完全装着されていることを確認してください。
- ・ランプ固定金具がランプ口金の黒線を覆い隠していることを確認してください。
- ・ランプ固定金具をランプ固定ラインまでスライドさせてください。ソケット内部およびランプ口金部に水が浸入する場合があります。

	完全装着状態	不完全装着状態		
装着図				
ランプ装着状態	正常	挿入不足	挿入不足	片側挿入
ランプ点灯状態	点灯	不点灯	点灯	点灯



【注意】

- ・ランプ交換の際にも、必ず電源を切ってから、ランプ固定金具をランプ固定解除ラインまでスライドさせ、ランプ両端を持って取り外してください。
- ・ランプ中央部を持って押し込むと確実に取付かない場合やランプが破損する場合があります。
- ・点灯中および消灯直後のランプおよびその周辺は熱いので、触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- ・ランプはソケットへ確実に押し込んでください。押し込みが不十分な場合、ランプ固定金具がスライドしない場合があります。
- ・ランプ固定金具をランプ固定ラインまでスライドさせないとランプは点灯しません。

電源の供給

- ①すべての作業が終わりましたら電源を入れ、ランプが点灯することを確認してください。
- ②シームレスライン照明器具は、ソフトスタートですので電源投入後、点灯に数秒かかります。

【注意】ランプが点灯しない場合は器具両端のランプ固定金具がランプ固定ラインまでスライドされているかを確認ください。電源を数秒間隔で「入り」「切り」させた時や、電源を入れた状態でランプ交換を行なった時は、保護回路が作動し、ランプが点灯しないことがあります。このような時には、いったん電源を切り10秒以上待って、再度電源を入れてください。